

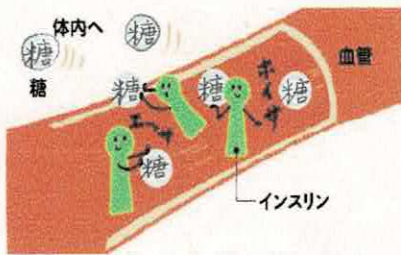
歯周病と糖尿病の切っても切れない関係

歯周病と糖尿病。一見似ても似つかぬ両者は「**炎症を起こす**」という点で共通しています。最近では歯周病が改善すると糖尿病も改善することがわかってきました。どうしてそのようなことが起こるのでしょうか？

糖尿病ってどんな病気？

糖尿病は膵臓から分泌される「インスリン」というホルモンがうまく作用しなくなることで、慢性的に血液中のブドウ糖の濃度が高く（高血糖）になってしまう病気です。インスリンの働きを悪くするのは「**炎症**」。じつは脂肪を貯め込んだ内臓脂肪は、免疫細胞を刺激して体に炎症反応を起こしています。このとき生み出される炎症物質（悪玉ホルモンのようなもの）が血流によって体内に広がりインスリンの働きを邪魔します。

インスリンがしっかり働いていると...



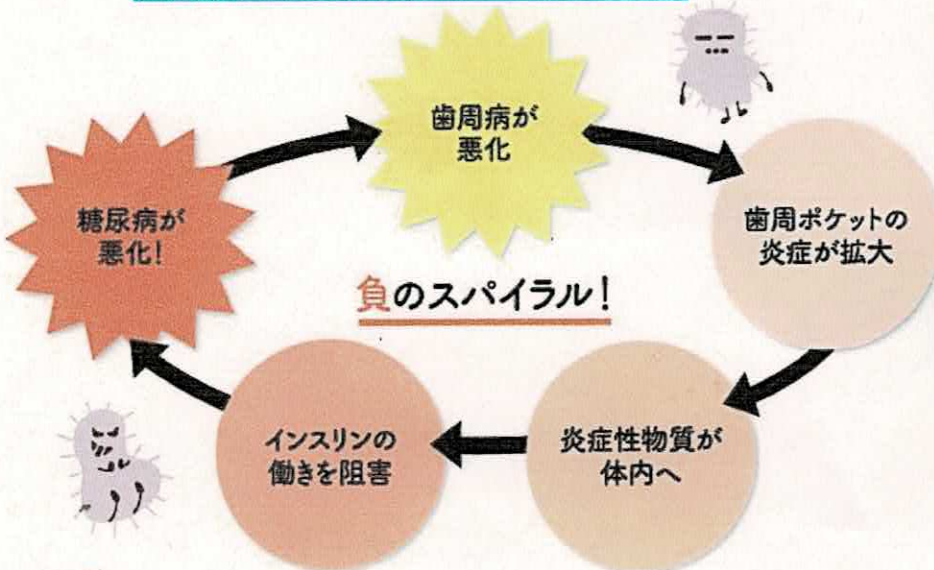
インスリンの働きが阻害されると...



歯周病との関係は？

歯周病の場合、歯周病菌が出す毒素により歯周ポケットの中で「**炎症**」が起きています。歯周組織を舞台とした、免疫細胞と細菌の闘いの結果、生じた炎症物質が同じように血流によって体内に広がりインスリンの働きを邪魔します。

歯周病による糖尿病悪化のメカニズム



糖尿病と歯周病になっている場合、内臓脂肪からの炎症に加え、お口で起こっている炎症がダブルでインスリンの働きを邪魔します。これが「歯周病が糖尿病を悪化させる」ということです。食事に気を付けても運動に励んでも血糖値が下がらないという方は、歯周病が原因かもしれませんよ！



毎日、甘いものが食べません。内臓脂肪が増えているかも... (H)	将来糖尿病にならないように今のうちから気をつけよう!! (W)	尿に糖が出るだけでなく血液中に糖が増える。糖尿病! 炎症!! (X)	歯を大切に! 全身の健康管理が大切!! (Y)	歯周病と糖尿病、実はこんなに深い関係があるとはびっくりです!! 歯を大切に!! (Z)
2型糖尿病、歯周病は共に生活習慣病と言われている。日々の生活を気をつけよう!! (A)	糖尿病の身体に考えをあたせたい!! (B)	日々の健康管理に気を配るつもりで心がけたい!! (C)	日常生活に運動をとり入れることがはじきたい!! (D)	糖尿病の名称は、変遷される江戸前。ニュースでさきほど A.Y.
				「血糖値」よく歯周病 (E) (F) (G) (H)